

▼有田コンピュータの目的▼

有田コンピュータは「IT事業を通じ地域に貢献する事」

「顧客のパソコンによる業務改善を追求し、互いに利益を創り出し発展していく事」を目的として活動しています。

ノートパソコンの バッテリーを長持ちさせるコツ



節約1 液晶ディスプレイの「明るさ」調節

一般に8~20段階程度の輝度(明るさ)調整が可能です。

液晶ディスプレイの場合、周りが明るければ、輝度を高くしないと見えづらいですが暗ければ輝度が低くても意外に見えるものです。外光に合わせてこまめに調整すればかなりの省エネになります。

節約2 USBマウスは必要な時にだけ

USBマウスを使用しなくても装着しただけで20分ものバッテリー浪費になってしまいます。できることならノートパソコンに装備されているポインティングデバイスを利用するのが消費電力の面からはお勧めですが、使いにくいのが問題です。ですので、USBマウスを利用しない時は取り外すことを心掛けて下さい。

節約3 不必要なPCカードは取り外す

無線LANはバッテリーの大敵です。無線LANカードを装着した場合と、未装着の消費電力を比較した結果、装着しているだけで45分の差があります。無線LANを使用できない環境の時はカードは必ず抜くようにして下さい。しかし、標準で内蔵されている分やメモリカードに関しては微量の電力しか消費しないようですので、無線LANカードほど気にしなくていいようです。

バッテリー寿命を伸ばす使い方

充電ができる回数は300~500回です。1日1回充電すれば1年は持たない計算です。実際、ほとんどのメーカーは1年半から2年がバッテリーの寿命だとしています。寿命を少しでも延ばすには暑い日に車の中に放置しないように。満充電も避けること。充電量を7割~8割にとどめておくのがバッテリーを長持ちさせる秘けつです。長時間使用しない場合は、バッテリーを3割から4割程度の状態にし、低温で保管することです。

正しい充電方法

充電する際はできれば休止状態やスタンバイ、電源オフの状態にしておくのが望ましいです。電源をオンにしておくとCPUやその他の部品から熱が発生し、バッテリー寿命に悪影響を与えるからです。予備のバッテリーを持っているなら、できるだけ交互に利用するようにして下さい。

編集者より：ノートパソコンを外出先で活用させている方も多いはずですが、ちょっとした心がけの積み重ねで大きな差がでできます。効率良い使用方法で省エネして下さい。